

中濃消防組合50年の記録



管理者点検

歴 代 三 役

○ 管 理 者



初 代

福 岡 博 由
昭和46年4月
～昭和57年1月



2 代

堀 部 四 郎
昭和57年3月
～平成3年8月



3 代

後 藤 昭 夫
平成3年9月
～平成19年9月



4 代

尾 藤 義 昭
平成19年9月
～平成23年9月



5 代

尾 関 健 治
平成23年9月
～現 在

○ 副 管 理 者

加 納 精 吾	昭和46年 4月	～ 昭和51年 7月
沢 村 章	昭和51年 7月	～ 昭和62年 6月
西 部 晃 彦	昭和62年 7月	～ 平成 7年 7月
石 川 道 政	平成 7年 7月	～ 平成26年12月
武 藤 鉄 弘	平成26年 1月	～ 現在

森 勇 雄	昭和46年 4月	～ 昭和55年10月
多治見 勇 一	昭和55年10月	～ 昭和57年 2月
長 屋 実	昭和57年 3月	～ 平成元年 9月
川 口 千 章	平成元年12月	～ 平成 4年 5月
長 屋 茂	平成 4年 5月	～ 平成 5年 9月
尾 関 富 夫	平成 5年 9月	～ 平成 7年 9月
井 藤 広 一	平成 7年10月	～ 平成10年 6月
熊 澤 昌 之	平成10年 7月	～ 平成13年10月
長 屋 勝 司	平成13年10月	～ 平成17年 2月

○ 収 入 役 ・ 会 計 管 理 者

収 入 役

初 代	平 田 光 男	昭和46年 4月	～ 昭和52年 7月
2 代	山 田 幸 吉	昭和52年 8月	～ 昭和57年 3月
3 代	岸 照 明	昭和57年 3月	～ 昭和61年 3月
4 代	松 田 銚 司	昭和61年 3月	～ 平成 3年10月
5 代	大 塚 騰	平成 3年10月	～ 平成 9年 9月
6 代	西 尾 治	平成 9年10月	～ 平成10年 6月
7 代	小 川 淳 二 次	平成10年 7月	～ 平成16年 3月
8 代	森 義 次	平成17年 3月	～ 平成19年 3月 (収入役を兼掌する助役)

会 計 管 理 者

9 代	中 村 猛	平成19年 4月	～ 平成21年 3月
10 代	古 川 公 治	平成21年 4月	～ 平成23年 3月
11 代	川 合 貢	平成23年 4月	～ 平成26年 3月
12 代	加 藤 源 一 郎	平成27年 4月	～ 平成28年 3月
13 代	二 俣 幸 二	平成28年 4月	～ 平成30年 3月
14 代	足 立 光 明	平成30年 4月	～ 平成31年 3月
15 代	西 部 靖	平成31年 4月	～ 令和 2年 3月
16 代	村 瀬 富 喜 子	令和 2年 4月	～ 現在

歴代議長・副議長

◆ 議 長

粥川 茂	昭和46年 5月～昭和47年 5月
後藤 凱一	昭和46年 5月～昭和47年 6月
酒井 利道	昭和47年 6月～昭和48年 5月
後藤 凱一	昭和48年12月～昭和50年 8月
須田 晃	昭和50年 9月～昭和51年 9月
平田 康夫	昭和51年10月～昭和52年 6月
後藤 凱一	昭和52年 7月～昭和53年 7月
酒井 利道	昭和53年 8月～昭和54年 7月
須田 晃	昭和54年 5月～昭和55年 9月
酒井田 東一	昭和55年10月～昭和56年 9月
山田 利行	昭和56年10月～昭和57年 7月
山田 大五郎	昭和57年 8月～昭和58年 4月
酒井 利道	昭和58年 5月～昭和59年 6月
須田 晃昭	昭和59年 7月～昭和60年 6月
中村 宮雄	昭和60年 7月～昭和61年 5月
遠山 義男	昭和61年 7月～昭和62年 5月
後藤 純三	昭和62年 8月～昭和63年 5月
須田 晃	昭和63年 7月～平成元年 5月
平田 明一	昭和元年 7月～平成 2年 5月
酒井田 東一	平成 2年 7月～平成 3年 4月
足立 鉞男	平成 3年 7月～平成 4年 5月
山田 栄司	平成 4年 7月～平成 5年 5月
山田 得男	平成 5年 7月～平成 6年 5月
後藤 純三	平成 6年 7月～平成 7年 5月
須田 晃	平成 7年 7月～平成 8年 5月
山田 得男	平成 8年 7月～平成 9年 5月
岡田 洋一	平成 8年 7月～平成 9年 5月
成瀬 豊勝	平成10年 7月～平成11年 5月
高木 茂	平成11年 7月～平成12年 5月
岡田 洋一	平成12年 7月～平成13年 5月
成瀬 豊勝	平成13年 7月～平成14年 5月
栗山 昌泰	平成14年 7月～平成15年 5月
石原 教雅	平成15年 7月～平成16年 5月
松井 茂	平成16年 7月～平成17年 5月
岡田 洋一	平成17年 7月～平成18年 5月
大野 周司	平成18年 7月～平成19年 5月
山田 菊雄	平成19年 7月～平成20年 5月
丹羽 栄守	平成20年 7月～平成21年 5月
佐藤 善一	平成21年 7月～平成22年 5月
石原 教雅	平成22年 7月～平成23年 5月
長屋 和伸	平成23年 7月～平成24年 5月
長屋 和伸	平成24年 7月～平成25年 5月
太田 博勝	平成25年 7月～平成26年 5月
太田 博勝	平成26年 7月～平成27年 5月
西部 雅之	平成27年 7月～平成28年 5月
三輪 正善	平成28年 7月～平成29年 5月
三輪 正善	平成29年 7月～平成30年 5月
山藤 鉦彦	平成30年 7月～令和元年 5月
村山 景一	令和元年 7月～令和 2年 5月
波多野 源司	令和 2年 7月～令和 3年 5月
市川 隆也	令和 3年 7月～現在

◆ 副 議 長

渡辺 数三郎	昭和46年 5月～昭和46年11月
笠井 儀一	昭和46年12月～昭和48年 6月
岩原 博男	昭和48年 7月～昭和49年11月
林 司馬男	昭和49年12月～昭和50年 8月
波多野 桐太郎	昭和50年 9月～昭和51年 9月
笠井 儀一	昭和51年10月～昭和52年 6月
岩原 博男	昭和52年 7月～昭和53年 7月
波多野 桐太郎	昭和53年 8月～昭和54年 7月
山田 勝太郎	昭和54年 5月～昭和55年 9月
松村 定一	昭和55年10月～昭和56年 9月
松村 定一	昭和56年10月～昭和57年 7月
岩原 博男	昭和57年 8月～昭和58年 5月
沢村 茂	昭和58年 5月～昭和59年 5月
加納 定吉	昭和59年 7月～昭和60年 5月
太田 隆一	昭和60年 7月～昭和61年 5月
山口 光雄	昭和61年 7月～昭和62年 5月
武藤 由夫	昭和62年 8月～昭和63年 5月
岩原 博男	昭和63年 7月～平成元年 5月
山田 勝太郎	平成元年 7月～平成 2年 5月
太田 隆一	平成 2年 7月～平成 3年 5月
只 保夫	平成 3年 7月～平成 4年 5月
山田 勝太郎	平成 4年 7月～平成 5年 5月
太田 隆一	平成 5年 7月～平成 6年 5月
藤川 俊	平成 6年 7月～平成 7年 5月
山口 光雄	平成 7年 7月～平成 8年 5月
那須 茂三	平成 8年 7月～平成 9年 5月
野倉 和郎	平成 9年 7月～平成10年 5月
山田 勝太郎	平成10年 7月～平成11年 5月
加納 喜代彦	平成11年 7月～平成12年 5月
吉田 佳男	平成12年 7月～平成13年 5月
児山 廣茂	平成13年 7月～平成14年 5月
太田 隆一	平成14年 7月～平成15年 5月
加納 喜代彦	平成15年 7月～平成16年 5月
日々野 豊	平成16年 7月～平成17年 5月
平田 雄三	平成17年 7月～平成18年 5月
児山 廣茂	平成18年 7月～平成19年 5月
岩原 輝夫	平成19年 6月～平成20年 5月
日々野 豊	平成20年 7月～平成21年 5月
市原 鶴枝	平成21年 7月～平成22年 5月
佐藤 好夫	平成22年 7月～平成23年 5月
山口 育男	平成24年 7月～平成25年 5月
森 福子	平成24年 7月～平成25年 5月
野倉 和郎	平成25年 7月～平成26年 5月
古田 豊	平成26年 7月～平成27年 5月
太田 照彦	平成27年 7月～平成28年 5月
佐藤 好夫	平成28年 7月～平成29年 5月
山口 育男	平成29年 7月～平成30年 5月
森 福子	平成30年 7月～令和元年 5月
古田 豊	令和元年 7月～令和 2年 5月
辻 文男	令和 2年 7月～令和 3年 5月
佐藤 好夫	令和 3年 7月～現在

歴代消防長

初代	熊 沢 秀 男	昭和46年12月 1日 ~ 昭和55年 3月31日
2代	山 本 武 夫	昭和55年 4月 1日 ~ 昭和61年 3月31日
3代	吉 田 英 雄	昭和61年 4月 1日 ~ 平成元年 3月31日
4代	五十嵐 正 夫	平成元年 4月 1日 ~ 平成 3年 3月31日
5代	大 塚 暉 夫	平成 3年 4月 1日 ~ 平成 4年 3月31日
6代	後 田 孝 彦	平成 4年 4月 1日 ~ 平成 7年 3月31日
7代	石 原 錦 治	平成 7年 4月 1日 ~ 平成10年 3月31日
8代	下 條 正 義	平成10年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
9代	安 田 洋 一	平成11年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
10代	渡 辺 英 治	平成14年 4月 1日 ~ 平成15年 3月31日
11代	山 藤 鉦 彦	平成15年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
12代	柴 田 典 昭	平成16年 4月 1日 ~ 平成17年 3月31日
13代	安 田 健 司	平成17年 4月 1日 ~ 平成18年 3月31日
14代	長 瀬 卓 男	平成18年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日
15代	山 本 武	平成20年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
16代	武 藤 幸 治	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
17代	小 林 隆 男	平成22年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日
18代	澤 村 政 巳	平成24年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
19代	道 家 直 樹	平成26年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日
20代	足 立 秀 人	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
21代	藤 田 哲 也	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日
22代	細 野 正 則	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
23代	中 島 昭 裕	令和 2年 4月 1日 ~ 現在

構成市消防団長 令和3年4月1日 現在



関市消防団長 土屋泰弘



美濃市消防団長 河合有二

中濃消防組合のあゆみ

組合発足当時の庁舎

昭和46年～昭和58年（1971～1983年）



美濃消防署 (S 47.1)



関消防署 (S 46.6)



関消防署 (S 46.6)

昭和45年

11月

- ・中濃地域広域行政推進協議会で組合消防の構想として、1 消防本部、2 署、3 出張所、職員 75 名
現有の関市消防本部の装備のほか消防ポンプ自動車 4 台、救急車 1 台、通信施設は一般加入電話並びに無線電話設備等を配備する大綱を決定した

昭和46年

1月

- ・関市、美濃市、洞戸村、板取村、武芸川町、武儀村及び上之保村の 2 市 1 町 4 村を区域とする組合消防の設立を決定

3月

- ・関係市町村の議会がそれぞれ組合の規約を議決し県に設立許可を申請

4月

- ・中濃消防組合設立許可(県指令地第 68 号)、第 1 回組合議会招集
- ・初代組合管理者に関市長福岡博由氏就任、副管理者に美濃市長加納精吾氏及び武芸川町長森勇雄氏就任
- ・政令指定をうける
- ・超短波無線(中濃消防)を新設

6月

- ・中濃消防組合消防本部及び関消防署を設置、従来の関市消防本部及び関市消防署を廃止、現職員は組合に派遣し、管理者が消防長を兼務

8月

- ・職員定数は 75 名とする



武芸川出張所 (S 47. 3)



津保川出張所 (S 47. 3)



消防本部・関消防署 (S 48. 3)



板取川出張所 (S 47. 3)



美濃消防署 (S 47. 12)



武儀出張所 (S 53. 12)

9 月
12 月

昭和 47 年

1 月

4 月

6 月

7 月

11 月

- ・職員 20 名採用、総員 55 名
- ・新(初代)消防長に熊沢秀男氏就任
- ・武芸川、津保川及び板取川の 3 出張所庁舎新築工事入札執行、直ちに工事に着手
- ・消防ポンプ自動車 4 台を購入
- ・美濃消防署開設、消防ポンプ車 1 台、救急車 1 台、職員 11 名を配置
- ・消防本部に総務、予防及び警防の 3 課を新設、職員 20 名採用、総員 75 名
- ・武芸川、津保川及び板取川の 3 出張所開設、消防ポンプ車 1 台、職員 9 名をそれぞれ配置
- ・日本船舶振興会から大型救急車 1 台の寄贈を受け、関消防署へ配置
- ・広報車等 5 台を購入、消防本部、美濃消防署及び武芸川出張所へ広報車を、また津保川及び板取川出張所へは、広報車兼救急車 1 台を配置
- ・本部併設関消防署及び美濃消防署庁舎新築工事入札執行、直ちに工事に着手
- ・日本赤十字社岐阜県支部から救急車 1 台の寄贈を受け、武芸川出張所へ配置

組合発足当時の車両

昭和46年～昭和58年（1971～1983年）



水槽付消防自動車



消防ポンプ自動車



指令車

昭和48年

2月

- ・美濃消防署新庁舎完成、落成式を挙

3月

- ・関市西欠ノ下5番地に消防本部併設関消防署庁舎完成、落成式を挙、新庁舎で業務を開始

10月

- ・水槽付消防ポンプ車1台を購入、関消防署に配置

12月

- ・組合職員定数条例改正、定数97名とする

昭和49年

4月

- ・職員4名採用(内事務吏員1名)、総員79名

9月

- ・水槽付消防ポンプ車1台を購入、美濃消防署へ配置

11月

- ・第1回注水競練会実施

昭和50年

4月

- ・職員1名採用、総員80名

昭和51年

3月

- ・日本損害保険協会から救急車1台の寄贈を受け、板取川出張所へ配置

4月

- ・職員10名採用(内欠員補充2名)、総員88名

7月

- ・組合副管理者に美濃市長沢村章氏就任



消防ポンプ自動車



大型救急車



屈折はしご車



救急車

昭和 52 年

4 月

・職員 7 名採用(内欠員補充 2 名)、総員 93 名

6 月

・救命ボート 2 艘を購入、関消防署及び美濃消防署に配置

7 月

・組合職員定数条例改正、定数 108 名とする

9 月

・屈折はしご車 1 台を購入、関消防署へ配置

昭和 53 年

4 月

・職員 11 名採用(内欠員補充 1 名、事務吏員 1 名)総員 103 名

5 月

・職員 1 名採用(欠員補充)、総員 103 名

12 月

・武儀出張所を開設、救急車 1 台、職員 5 名を配置

昭和 54 年

3 月

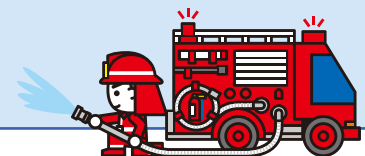
・組合職員定数条例改正、定数 118 名とする

4 月

・職員 6 名採用、総員 109 名

9 月

・武儀出張所 4 名増員、計 9 名とし、消防ポンプ車 1 台を配置



災害を教訓に厳しい訓練を・・・

昭和46年～昭和58年（1971～1983年）



洪水により崩壊した陸橋(美濃市)



谷川の氾濫で崩壊した家屋(武芸川町)



豪雪の中での救急活動(板取村)



山崩れにより崩壊した工場(板取村)



洪水により崩壊した家屋(関市)

昭和 55 年

3 月

・熊沢秀男氏消防長退任

4 月

・2 代目消防長に山本武夫氏就任

10 月

・職員 4 名採用(内欠員補充 1 名)、総員 112 名

11 月

・組合副管理者に上之保村長多治見勇一氏就任

・津保川河畔に訓練場完成

昭和 56 年

3 月

・救急指令装置(B 型)導入、運用開始

4 月

・職員 8 名採用(内欠員補充 2 名)、総員 118 名

8 月

・職場を明るくする「3K 運動」を始める

10 月

・組合設立 10 周年記念練成会を開催、庁舎前に構成 7 ケ市町村の木を植樹

・中濃消防組合旗を制定

・消防ポンプ車 2 台を購入、板取川及び武芸川出張所へ配置

・広報車 2 台を購入、美濃消防署及び津保川出張所へ配置

・消防本部事務室を東庁舎へ移転

12 月

・救急車(2B 型)1 台を購入、津保川出張所へ配置



中濃消防組合第1回注水競練会(S49)



救命ボート取扱い訓練(S52)



河川訓練場での救助訓練(S55)

昭和57年

1月

・初代組合管理者関市長福岡博由氏死去

3月

・2代目組合管理者に関市長堀部四郎氏就任

4月

・組合副管理者に板取村長長屋実氏就任

・職員2名採用(欠員補充)、総員118名

・4週1回交代半休制導入

・旅館、ホテルに対する表示公表制度を導入、**適**マーク初めて交付

6月

・中濃消防組合救助隊にアクアリング隊新設

10月

・消防ポンプ車1台を購入、津保川出張所へ配置

昭和58年

1月

・隣接消防本部との消防相互応援協定締結完了

8月

・第32回岐阜県消防操法大会 武儀町で開催

12月

・岐阜県救急医療情報システム(みんなのきゅうきゅう)の運用開始

・消防作業車1台を購入、美濃消防署へ配置

昭和から平成へ

昭和59年～平成4年（1984～1992年）



第1回少年消防ジュニアリーダー研修(S63)



関消防署特別救助隊・美濃消防署救助隊が発足(S62)



広報車を購入し、西分署へ配置(S61)



(岐阜各務原IC～美濃IC)
東海北陸自動車道一部共用開始(S61)



救急・防火指導研究発表会(S59)

昭和59年

3月

- ・高速道路における救急業務の対応計画策定

10月

- ・日本損害保険協会から化学車1台の寄贈を受け、関消防署へ配置
- ・広報車1台を購入、消防本部へ配置

12月

- ・組合職員定数条例改正、定数122名とする

昭和60年

4月

- ・組合産業医として洞戸村林医師を選任

6月

- ・全国消防長会東海支部総会 美濃市で開催
- ・消防職員意見発表全国大会に出場

昭和61年

3月

- ・関消防署西分署を開設、消防ポンプ車1台、救急車1台、職員8名を配置
- ・山本武夫氏消防長退任

4月

- ・3代目消防長に吉田英雄氏就任
- ・職員4名採用(内欠員補充2名)、総員120名

9月

- ・4WD救急車1台を購入、板取川出張所へ配置

10月

- ・水槽付消防ポンプ車1台を購入、関消防署へ配置

11月

- ・広報車1台を購入、西分署へ配置



初代ミニ消防車「いちいち君」(S 57)



救助工作車 1 台を購入・関消防署へ配置(S 63)



第 32 回岐阜県消防操法大会・武儀町(S 58)



消防職員意見発表全国大会出場(S 60)

昭和 62 年

3 月

・消防庁長官表彰竿頭授受章

4 月

・職員 1 名採用(欠員補充)、総員 119 名

7 月

・新型防火衣を採用し 3 年計画で更新

11 月

・B 型肝炎抗原抗体検査実施

・プロパンガス協会武儀支部関地区から査察車 1 台の寄贈を受け、関消防署へ

昭和 63 年

4 月

・4 週 6 休制に移行

4 月

・隣接消防本部との消防相互応援協定再締結完了

8 月

・古田正三氏からスクープストレッチャー寄贈

9 月

・B 型肝炎ワクチン初接種

・第 37 回岐阜県消防操法大会 美濃市で開催

・第 27 回全国消防長会組合消防委員会 関市で開催

・水槽付消防ポンプ車 1 台を購入、美濃消防署へ配置

・関中央ロータリークラブからスクープストレッチャー寄贈

11 月

・広報車 1 台を購入、板取川出張所へ配置

12 月

・救助工作車 1 台を購入、関消防署へ配置

昭和から平成へ ver 2

昭和59年～平成4年（1984～1992年）



第36回岐阜県消防大会を関市で開催(H1)



高圧ガス移動防災訓練(H2)



2代目ミニ消防車「のびのび君」完成(H3)



平成元年

3月

- ・関ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受け、関消防署へ配置
- ・吉田英雄氏消防長退任

4月

- ・4代目消防長に五十嵐正夫氏就任

9月

- ・職員3名採用(内欠員補充2名)、総員120名

10月

- ・広報車(軽自動車)2台を購入、武芸川及び武儀出張所へ配置

11月

- ・岐阜県消防長会総会 関市で開催

12月

- ・岐阜県消防職員剣道大会 関市で開催
- ・救急車1台を購入、武芸川出張所へ配置
- ・組合副管理者に武芸川町長川口千章氏就任

平成2年

2月

- ・関中央ロータリークラブから映写機寄贈

9月

- ・日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、武儀出張所へ配置

10月

- ・東海北陸地区高圧ガス移動防災訓練 関市で実施

12月

- ・第36回岐阜県消防大会 関市で開催
- ・救急車1台を購入、美濃消防署へ配置



岐阜県消防職員剣道大会 (H 1)



関市・台風 18 号により床下浸水 (H 3)



日本消防協会から救急車の寄贈を受ける (H 2)

平成 3 年

3 月

・五十嵐正夫氏消防長退任

4 月

・5 代目消防長に大塚暉夫氏就任

・職員 3 名採用(欠員補充)、総員 120 名

・組合産業医として関市長真鍋医師を選任

8 月

・2 代目組合管理者関市長堀部四郎氏退任

9 月

・3 代目組合管理者に関市長後藤昭夫氏就任

10 月

・広報車 2 台を購入、美濃消防署及び津保川出張所へ配置

11 月

・組合発足 20 周年記念式典挙行

12 月

・救急車 1 台を購入、津保川出張所へ配置

平成 4 年

2 月

・中濃消防組合 OB による「中濃消防友和の会」結成

3 月

・組合職員定数条例改正、定数 128 名とする

・大塚暉夫氏消防長退任

4 月

・6 代目消防長に後田孝彦氏就任

・職員 4 名採用(内欠員補充 2 名)、総員 122 名

5 月

・組合副管理者に板取村長長屋茂氏就任

8 月

・消防緊急通報システム運用開始

9 月

・消防ポンプ自動車 1 台(ホースレイヤー付)及びクレーン付救助工作車 1 台を購入、美濃消防署へ配置

11 月

・広報車 1 台を購入、消防本部へ配置

阪神淡路大震災

平成5年～平成11年（1993～1999年）



阪神淡路大震災の被災地に救助隊を派遣(H7)



岐阜県防災ヘリ若鮎1(H6)



ホースレイヤー付消防ポンプ自動車(H4)

平成5年

3月

・関市安桜山を、たき火・喫煙制限地域に指定

4月

・職員4名採用、総員126名

・4週7休制に移行

6月

・体力管理規程制定

7月

・消防職員意見発表全国大会に出場

・組合職員定数条例改正、定数130名とする

・指令車1台を購入、関消防署へ配置

9月

・組合副管理者に洞戸村長尾関富夫氏就任

・水槽付消防ポンプ自動車(ホースレイヤー付)1台を購入、武儀出張所へ配置

11月

・完全週休2日制に移行

平成6年

1月

・岐阜県防災航空隊へ隊員派遣

4月

・職員5名採用(内欠員補充1名)、総員130名

・組合初の救急救命士誕生

7月

・組合職員定数条例改正、定数135名とする

9月

・水槽付消防ポンプ自動車(ホースレイヤー付)2台を購入、板取川出張所、武芸川出張所へそれぞれ配置

12月

・岐阜県石油商業組合武儀支部・岐阜県エルピーガス協会武儀支部から防火広報車1台の寄贈を受け、消防本部へ配置し、「なかみの防火号」と命名



本部庁舎・訓練塔(H 8)



本部庁舎・訓練塔竣工式で訓練披露(H 8)



岐阜県総合防災訓練を美濃市で開催(H 9)



関市少年クラブ連絡協議会設立、関市幼年消防大会を開催(H 7)

平成 7 年

1 月

- ・阪神淡路大震災に救助隊派遣
- ・高規格救急自動車 1 台を購入、関消防署へ配置し、高度救急業務体制の運用を開始

3 月

- ・後田孝彦氏消防長退任

4 月

- ・7 代目消防長に石原錦治氏就任

4 月

- ・職員 5 名採用(内欠員補充 1 名)、総員 134 名

5 月

- ・関ライオンズクラブから応急救護用テント 2 張寄贈

7 月

- ・職員 1 名採用、総員 135 名
- ・消防本部庁舎及び訓練塔起工式を挙行
- ・組合副管理者に美濃市長石川道政氏就任

9 月

- ・水槽付消防ポンプ自動車(ホースレイヤー付) 1 台を購入、津保川出張所へ配置

10 月

- ・組合副管理者に武芸川町長井藤広一就任

11 月

- ・広報車 1 台を購入、西分署へ配置

12 月

- ・岐阜県より緊急消防援助隊旗の交付

産業廃棄物火災 鎮火までに71時間

平成5年～平成11年（1993～1999年）



美濃市で産業廃棄物火災が発生(H9)



消防緊急通信指令施設(H9)



関青年会議所から心肺蘇生訓練用人形の寄贈を受ける(H9)

平成8年

4月

9月

12月

平成9年

4月

11月

平成10年

3月

4月

- ・職員4名採用(欠員補充)、総員135名
- ・嘱託職員制度の導入
- ・本部庁舎及び訓練塔竣工式
- ・水槽付消防ポンプ自動車(ホースレイヤー付)1台を購入、西分署へ配置
- ・組合職員定数条例改正、定数145名とする



- ・職員7名採用(内欠員補充3名)、総員139名
- ・岐阜県消防長会総会 関市で開催
- ・消防緊急通信指令施設運用開始
- ・資機材搬送車・査察車を更新、関消防署へ配置
- ・関青年会議所から心肺蘇生訓練用人形一式の寄贈を受け、関消防署へ配置

- ・日本消防協会から救急車1台寄贈
- ・緊急消防自動二輪車2台を購入、関消防署へ配置
- ・石原錦治氏消防長退任
- ・8代目消防長に下條正義氏就任
- ・職員7名採用(内欠員補充5名)



緊急消防自動二輪車 2 台を購入、関消防署へ配置 (H10)



9.15 豪雨により管内各地で被害が発生 (H11)



コンピュータ西暦 2000 年問題に伴い、対策本部を設置 (H11)



岐阜県消防職員綱引大会を関市で開催 (H12)

平成 10 年

5 月

・緊急消防自動二輪車運用開始

7 月

・洞戸出張所起工式挙行

・組合副管理者に武儀町長熊澤昌之氏就任

・中濃地域救急業務連絡協議会設立

10 月

・県内移動体通信分散受信運用開始

・日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 1 台寄贈

平成 11 年

2 月

・洞戸出張所運用開始

3 月

・下條正義氏消防長退任

4 月

・9 代目消防長に安田洋一氏就任

・職員 4 名採用 (欠員補充)、総員 145 名

・救急業務研究委員会設立

5 月

・「命をつなげる会 中濃」設立

7 月

・板取川出張所起工式を挙行

10 月

・コンピューター西暦 2000 年問題委員会設置

12 月

・板取川出張所運用開始

はしご付消防自動車配置

平成12年～平成15年（2000～2003年）



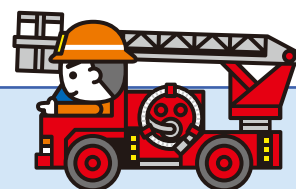
はしご付消防自動車1台を購入、関消防署へ配置(H13)



水難救助訓練(H12)



組合発足30周年式典(H13)



平成12年

- 4月 ・職員1名採用(欠員補充)、総員145名
- 5月 ・河川情報システム運用開始
- ・救命ボートを美濃消防署へ配置(4号艇)
- 6月 ・水中無線機を導入
- 11月 ・岐阜県消防職員剣道大会 関市で開催
- 12月 ・高規格救急自動車1台を購入、美濃消防署へ配置

平成13年

- 4月 ・職員1名採用(欠員補充)、総員145名
- 8月 ・全国消防長会組合消防委員会中ブロック委員会 関市で開催
- 10月 ・ネットワークコンピュータ運用開始
- ・組合副管理者に板取村長長屋勝司氏就任
- ・組合発足30周年記念式典挙行
- 12月 ・30メートル級はしご付消防自動車1台を購入、関消防署へ配置



岐阜市から各務原市にかけて大規模山林火災が発生(H14)



集団救急救護訓練(H14)



SARS 対応アイソレーター取扱訓練を実施(H15)



中濃地区身体障がい者・消防連絡協議会発足(H15)

平成 14 年

- 1 月
- 3 月
 - ・障がい者データの指令台登録開始
 - ・関中央ロータリークラブから指令車 1 台の寄贈を受け、関消防署へ配置
 - ・安田洋一氏消防長退任
- 4 月
 - ・10 代目消防長に渡辺英治氏就任
 - ・職員 1 名採用(欠員補充)、総員 145 名
- 10 月
 - ・水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入、関消防署へ配置
- 11 月
 - ・「メール 119」開局
- 12 月
 - ・中濃地域メディカルコントロール協議会設立
 - ・高規格救急自動車 1 台を購入、武芸川出張所へ配置

平成 15 年

- 3 月
 - ・中濃地区身体障がい者・消防連絡協議会発足
 - ・渡辺英治氏消防長退任
- 4 月
 - ・11 代目消防長に山藤鉦彦氏就任
 - ・職員 2 名採用(欠員補充)、総員 144 名
- 6 月
 - ・市町村合併消防業務検討委員会
 - ・夏制服を変更し、盛夏服を廃止
- 8 月
 - ・庁舎内及び公用車内完全禁煙化
 - ・第 52 回岐阜県消防操法大会 関市で開催
- 10 月
 - ・作業服を廃止し、活動服を導入
- 11 月
 - ・関親善大使による「一日消防長」
- 12 月
 - ・高規格救急自動車 1 台を購入、武儀出張所へ配置



変わりゆく街と消防車両

平成16年～平成19年（2004～2007年）



東海環状自動車道 美濃関 JCT 開通 (H17)



関市で合併式典 (H17)



岐阜県緊急消防援助隊訓練を関市で実施 (H17)

平成16年

- 3月
 - ・中濃圏域メディカルコントロール協議会設立
 - ・山藤鈺彦氏消防長退任
- 4月
 - ・12代目消防長に柴田典昭氏就任
 - ・職員2名採用(欠員補充)、総員144名
- 5月
 - ・消防庁舎(消防署)建設検討委員会設立
- 9月
 - ・ITリーダー研修実施
- 10月
 - ・美濃消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新
- 12月
 - ・東海北陸自動車道(美濃IC～美並IC間)4車線化

平成17年

- 1月
 - ・中濃消防組合ホームページ運用開始
- 2月
 - ・関市及び武儀郡5町村(洞戸村、板取村、武芸川町、武儀町、上之保村)が合併し、新「関市」誕生
 - ・東海環状自動車道消防連絡協議会設立
- 3月
 - ・東海環状自動車道(豊田東JCT～美濃関JCT間)開通
 - ・柴田典昭氏消防長退任
- 4月
 - ・13代目消防長に安田健司氏就任
 - ・職員7名採用(欠員補充)、総員144名
- 11月
 - ・岐阜県消防長会総会 美濃市で開催



関消防署救助工作車更新(H19)



水槽車を購入、関消防署へ配置(H19)



NBC対応訓練(H19)



中濃ブロック緊急消防援助隊訓練(H19)

平成18年

3月

・安田健司氏消防長退任

4月

・14代目消防長に長瀬卓男氏就任

・職員1名採用(欠員補充)、総員144名

・予防技術資格認定制度開始

6月

・住宅用火災警報器等の設置義務化

9月

・組合職員定数条例改正、定数165名とする

平成19年

1月

・水槽車1台を購入、関消防署へ配置

4月

・職員12名採用(内欠員補充7名)、総員149名

・救急救命士派遣制度(バーター方式)を導入

8月

・熱画像直視装置を導入

9月

・3代目組合管理者関市長後藤昭夫氏退任

10月

・4代目組合管理者に関市長尾藤義昭氏就任

12月

・関消防署救助工作車を更新

各種車両災害対応訓練

平成20年～平成22年（2008～2010年）



救難機動車を消防本部へ配置 (H21)



アステラス製薬(株)から高規格救急車の寄贈を受ける (H21)



救難機動車配置に伴う水難救助訓練披露 (H21)



美濃消防署救助工作車更新に伴う救助訓練披露 (H21)

平成20年

3月

・長瀬卓男氏消防長退任

4月

・15代目消防長に山本武氏就任

7月

・職員10名採用(欠員補充)、総員158名

12月

・指揮支援隊の運用開始

・関消防署高規格救急自動車を更新

平成21年

3月

・指揮車1台を購入、本部へ配置

4月

・山本武氏消防長退任

9月

・16代目消防長に武藤幸治氏就任

・職員11名採用(欠員補充)、総員165名

12月

・関消防署庁舎耐震化・増改築工事竣工式

・アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車1台の寄贈を受け、関消防署へ配置

・救難機動車1台を購入、本部へ配置



硫化水素事故対応訓練(H20)



SARS 対応訓練(H20)



第1回警防技術競練会(H21)



郡上市消防本部合同急流救助訓練(H22)



ドクターヘリ連携訓練(H22)

平成 22 年

2 月

・美濃消防署救助工作車を更新

3 月

・武藤幸治氏消防長退任

4 月

・17 代目消防長に小林隆男氏就任

4 月

・職員 10 名採用(欠員補充)、総員 165 名

6 月

・全国豊かな海づくり大会が関市をメイン会場として開催

8 月

・福井県大野市消防本部と消防相互応援協定を締結

・木曾川右岸用土地改良区連合と農業用水施設の緊急水利協定を締結

東日本大震災発生

平成23年～平成26年（2011～2014年）



東日本大震災発生に伴い緊急消防援助隊として職員派遣（H23）

平成 23 年

3 月

- ・東日本大震災発生に伴い緊急消防援助隊として職員を派遣
- ・美濃消防署庁舎新築工事竣工

4 月

- ・職員 4 名採用（欠員補充）、総員 165 名
- ・高機能消防指令センター運用開始

9 月

- ・4 代目組合管理者関市長尾藤義昭氏退任
- ・5 代目組合管理者関市長尾関健治氏就任

10 月

- ・査察車 1 台を購入、関消防署へ配置

平成 24 年

3 月

- ・小林隆男氏消防長退任

4 月

- ・18 代目消防長に澤村政巳氏就任

9 月

- ・救急講習における e-ラーニングの導入

10 月

- ・ロープレスキューの導入

10 月

- ・関消防署高規格救急自動車を更新

11 月

- ・消防統計システムの導入

12 月

- ・組合職員定数条例改正、1 年を経過しない消防吏員を定数外とする





第 11 回岐阜県救急隊員技術発表会 (H25)



警防活動訓練 (H25)



はしご車を使用した消防訓練 (H25)



事故車両対応訓練 (H26)

平成 25 年

- 2 月 ・ 緊急消防援助隊用資機材搬送車を美濃消防署へ配置
- 4 月 ・ 職員 5 名採用 (内欠員補充 2 名)、総員 168 名
- 4 月 ・ 救急車同乗研修 (看護師等) の受入れ開始
- 11 月 ・ 岐阜県救急隊員技術発表会を関市で開催
- 12 月 ・ 石川道政氏副管理者退任

平成 26 年

- 1 月 ・ 組合副管理者に美濃市長武藤鉄弘氏就任
- 2 月 ・ 美濃消防署高規格救急自動車を更新
- 2 月 ・ 組合初の C A F S 搭載消防ポンプ自動車を美濃消防署へ配置
- 3 月 ・ 澤村政巳氏消防長退任
- 4 月 ・ 19 代目消防長に道家直樹氏就任
- 4 月 ・ 職員 10 名採用 (欠員補充)、総員 166 名
- 4 月 ・ 消防救急デジタル無線運用開始
- 11 月 ・ 西分署高規格救急自動車を更新
- 12 月 ・ 武芸川、津保川出張所の耐震化・増改築工事竣工

幼児防火教育指導開始

平成27年～平成30年（2015～2018年）



幼児防火教育指導開始(H27)



ドローン運用開始(H28)



富野地内油流出事故(H27)

平成27年

2月

・ 関消防署高規格救急自動車を更新

3月

・ 関消防署にC A F S搭載消防ポンプ自動車を配備

4月

・ 職員4名採用(欠員補充)、総員167名

・ 若手職員による幼児防火教育をスタート

9月

・ 救急救命士の処置範囲拡大運用開始

11月

・ 緊急消防援助隊全国合同訓練に初めて参加

平成28年

3月

・ 関消防署にC A F S搭載消防ポンプ自動車を配備

4月

・ 職員4名採用(欠員補充)、総員166名

4月

・ 全署所と指令センターに救急救命士を配置

4月

・ 幼児防火教育指導員を「みらい隊」と命名

12月

・ 小型無人航空機(ドローン)の運用開始

・ 関消防署高規格救急自動車を更新





7月豪雨・上之保地域(H30)



水上技術訓練(H30)



木造建築物救助訓練(H30)



組合初の女性救急救命士誕生(H30)

平成 29 年

2 月

・美濃消防署指揮車を更新

2 月

・関消防署に消防ポンプ自動車(CD-I)を配置

3 月

・道家直樹氏消防長退任

4 月

・20 代目消防長に足立秀人氏就任

・職員 7 名採用(欠員補充)、総員 169 名

・関消防署西分署に消防ポンプ自動車(CD-I)を配置

・関消防署高規格救急自動車を更新

2 月

平成 30 年

3 月

・足立秀人氏消防長退任

・火災防ぎょマニュアル策定

4 月

・21 代目消防長に藤田哲也氏就任

・職員 8 名採用(欠員補充)、総員 170 名

12 月

・消防本部指揮支援車を更新(公益財団法人 日本消防協会より寄贈)

・関消防署に消防ポンプ自動車(CD-I)を配置

平成から令和へ 新型コロナウイルス対応

令和元年～令和2年（2019～2020年）



新型コロナウイルス感染症対応(R2)



新型コロナウイルス感染症対応



多目的訓練棟を使用した警防活動訓練(R1)



職員マラソン大会(R1)



指導的立場の救急救命士制度の開始(R1)

平成31年

3月

・藤田哲也氏消防長退任

4月

・22代目消防長に細野正則氏就任

・職員8名採用(欠員補充)、総員168名

・中濃消防組合個人情報保護条例及び情報公開条例の制定

・消防法令違反対象物公表制度開始

・指導的立場の救急救命士制度の開始

令和2年

2月

・関消防署高規格救急自動車を更新

・関消防署に消防ポンプ自動車(CD-I)を配置

3月

・細野正則氏消防長退任

4月

・23代目消防長に中島昭裕就任

・職員6名採用(欠員補充)、総員170名

・組織改編として、消防指令課と救急課を設置

・新型コロナウイルス感染症対策の実施

12月

・武儀出張所に消防ポンプ自動車(CD-I)を配置



体験型採用説明会(R 1)



消防救助技術東海地区指導会(R 1)



東海環状自動車道 三輪トンネル関係機関合同訓練(R 1)



安全運転技能講習(R 1)



道路啓開訓練(R 2)



山岳救助訓練(R 2)



知識・技術の伝承



多種多様化する災害 女性活躍とともに時代は令和へ



地域のために、地域とともに



安心して暮らせるまちをめざして



育む防火のこころ

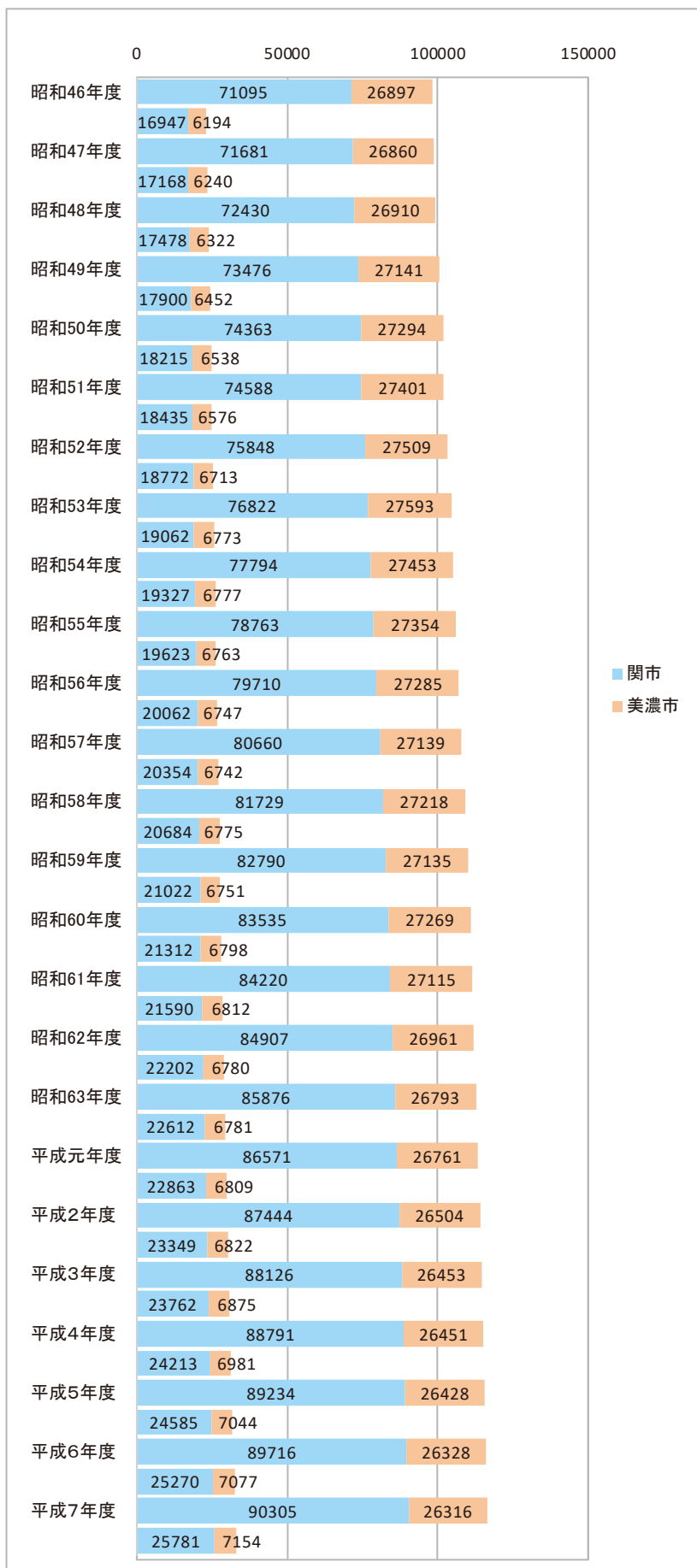


幼少期からの防火教育へ

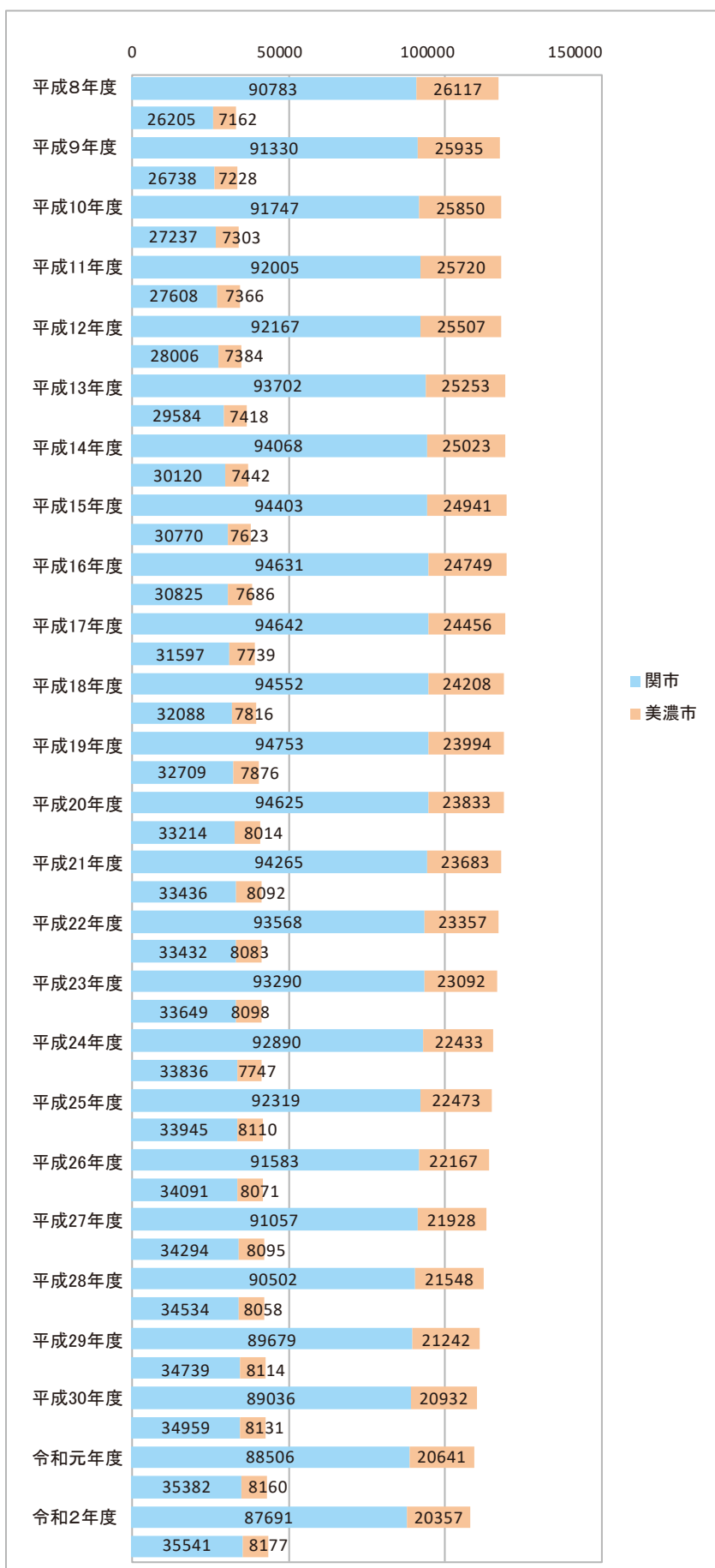


人口及び世帯数の推移

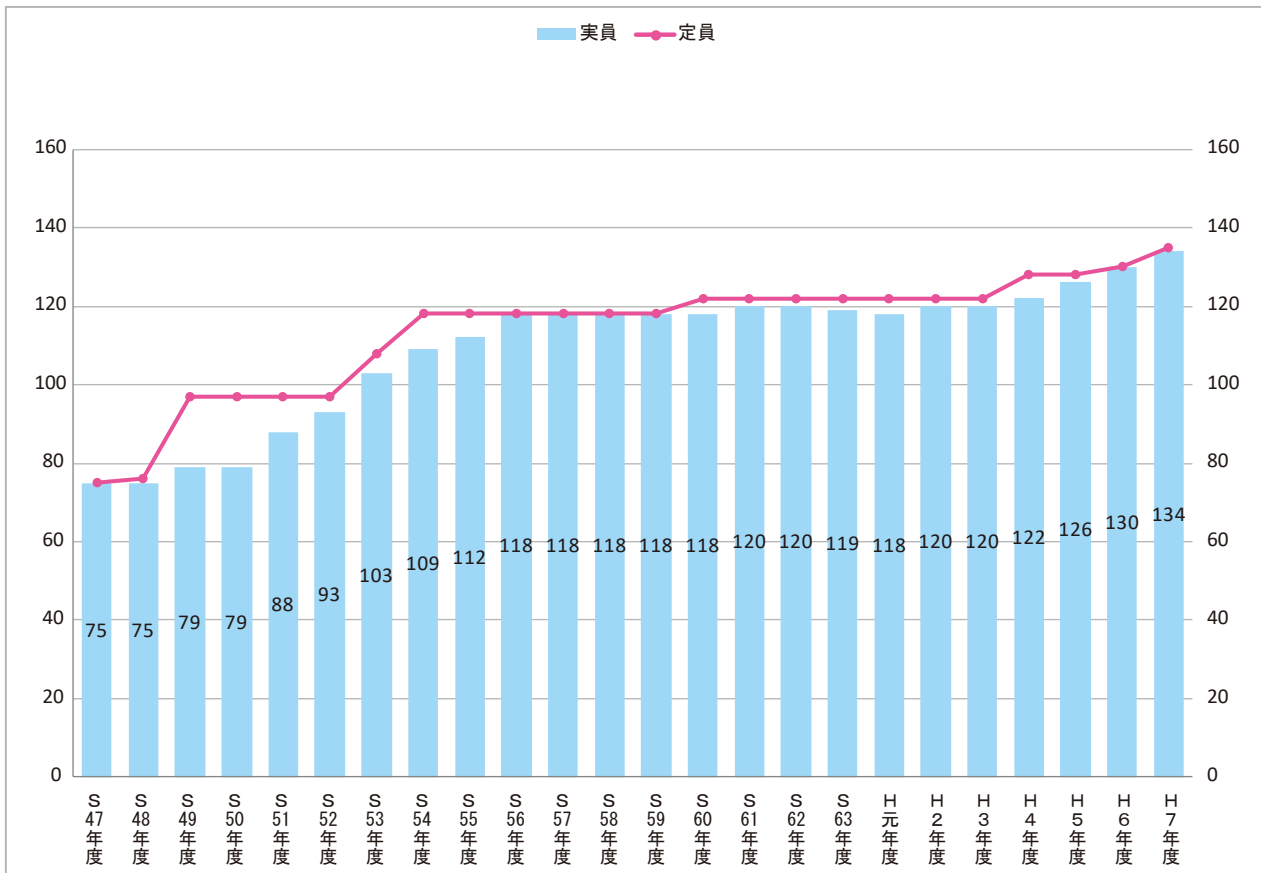
	人口	世帯
昭和46年度	97,992	23,141
昭和47年度	98,541	23,408
昭和48年度	99,340	23,800
昭和49年度	100,617	24,352
昭和50年度	101,657	24,753
昭和51年度	101,989	25,011
昭和52年度	103,357	25,485
昭和53年度	104,415	25,835
昭和54年度	105,247	26,104
昭和55年度	106,117	26,386
昭和56年度	106,995	26,809
昭和57年度	107,799	27,096
昭和58年度	108,947	27,459
昭和59年度	109,925	27,773
昭和60年度	110,804	28,110
昭和61年度	111,335	28,402
昭和62年度	111,868	28,982
昭和63年度	112,669	29,393
平成元年度	113,332	29,672
平成2年度	113,948	30,171
平成3年度	114,579	30,637
平成4年度	115,242	31,194
平成5年度	115,662	31,629
平成6年度	116,044	32,347
平成7年度	116,621	32,935



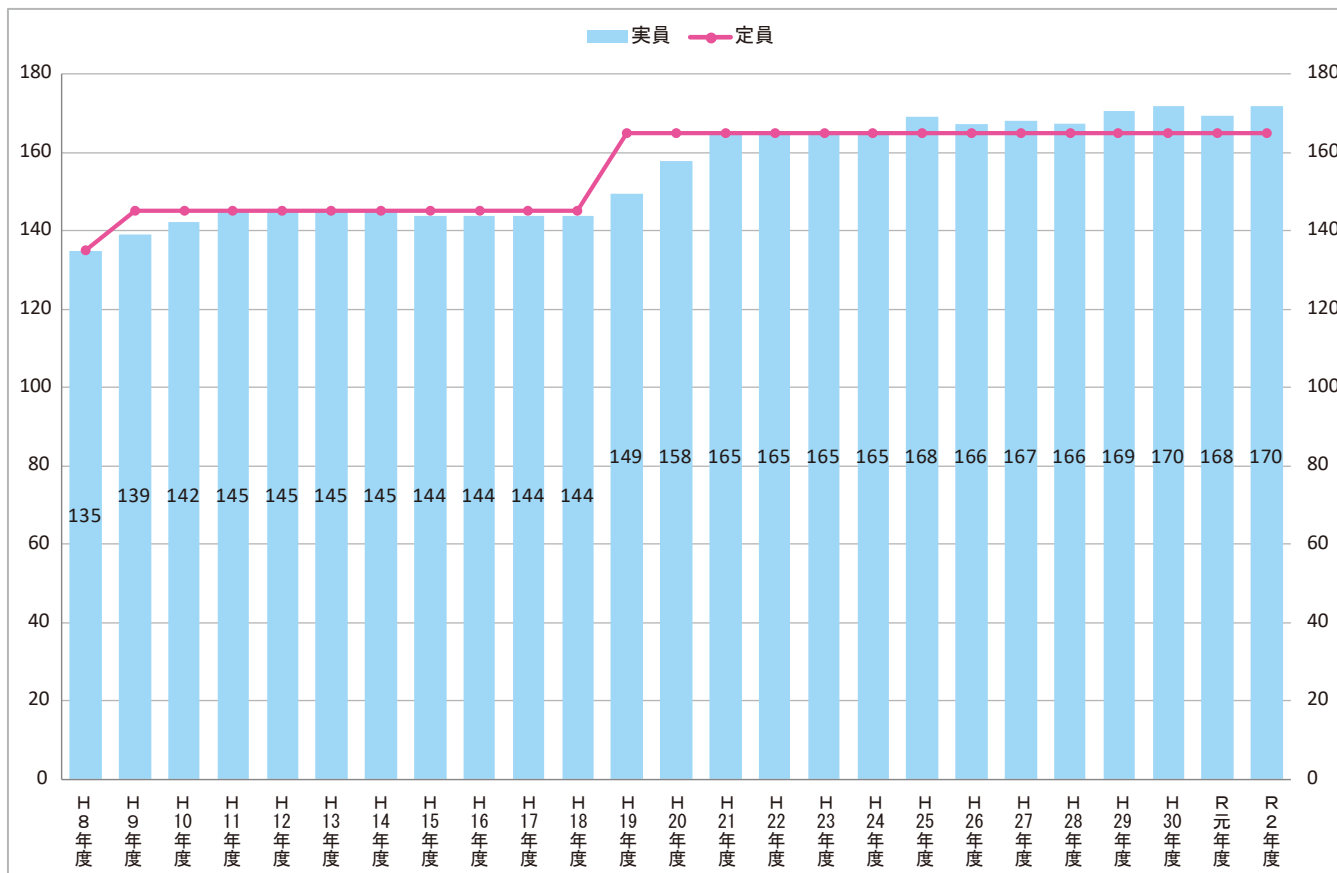
	人口	世帯数
平成8年度	116,900	33,367
平成9年度	117,265	33,966
平成10年度	117,597	34,540
平成11年度	117,725	34,974
平成12年度	117,674	35,390
平成13年度	118,955	37,002
平成14年度	119,091	37,562
平成15年度	119,344	38,393
平成16年度	119,380	38,511
平成17年度	119,098	39,336
平成18年度	118,760	39,904
平成19年度	118,747	40,585
平成20年度	118,458	41,228
平成21年度	117,948	41,528
平成22年度	116,925	41,515
平成23年度	116,382	41,747
平成24年度	115,323	41,583
平成25年度	114,792	42,055
平成26年度	113,750	42,162
平成27年度	112,985	42,389
平成28年度	112,050	42,592
平成29年度	110,921	42,853
平成30年度	109,968	43,090
令和元年度	109,147	43,542
令和2年度	108,048	43,718



職員数の推移

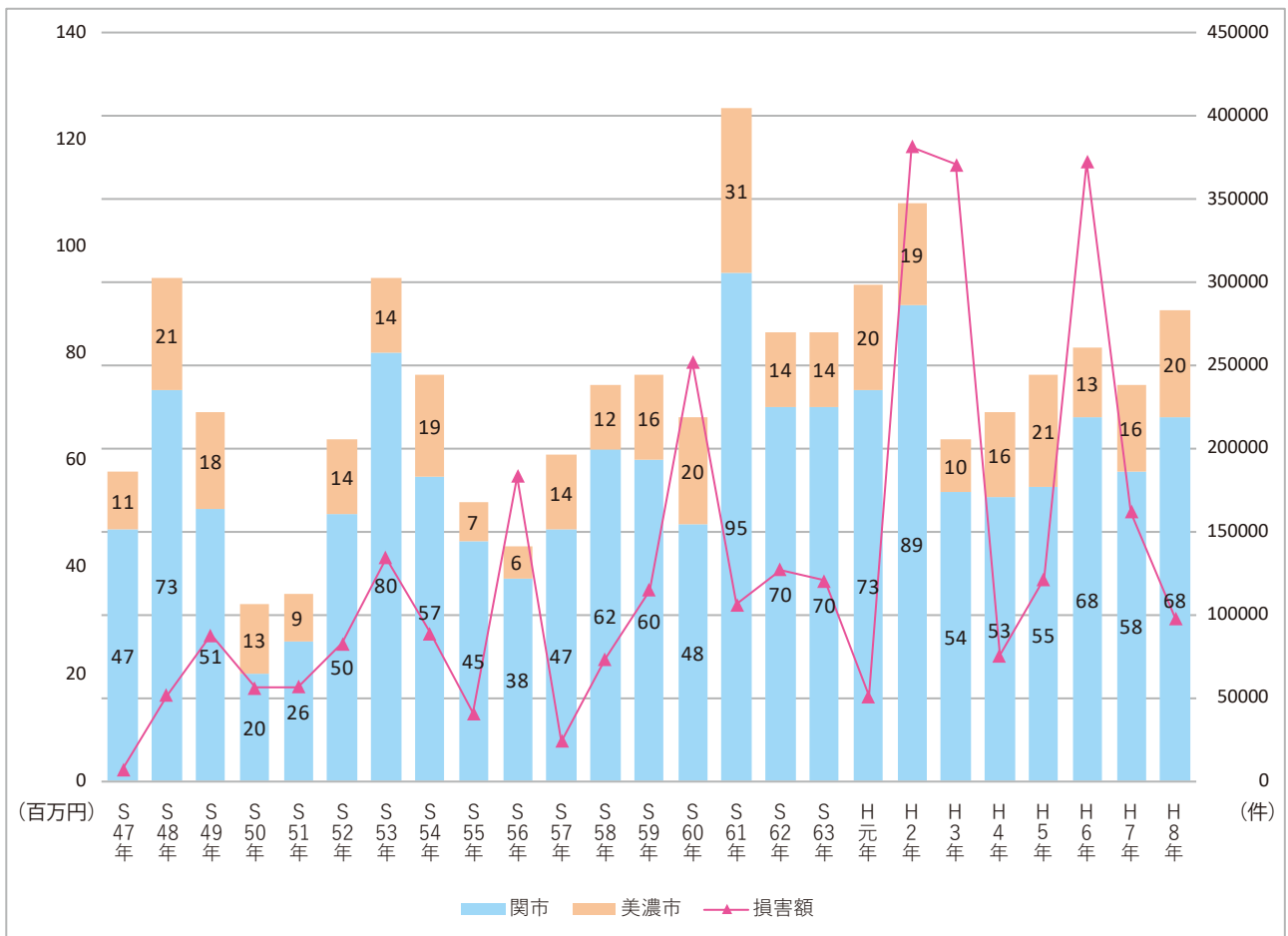


	S47年度	S48年度	S49年度	S50年度	S51年度	S52年度	S53年度	S54年度	S55年度	S56年度	S57年度	S58年度	S59年度	S60年度	S61年度	S62年度	S63年度	H元年度	H2年度	H3年度	H4年度	H5年度	H6年度	H7年度
実員	75	75	79	79	88	93	103	109	112	118	118	118	118	118	120	120	119	121	120	120	122	126	130	134
定員	75	76	97	97	97	97	108	118	118	118	118	118	118	122	122	122	122	122	122	122	128	128	130	135

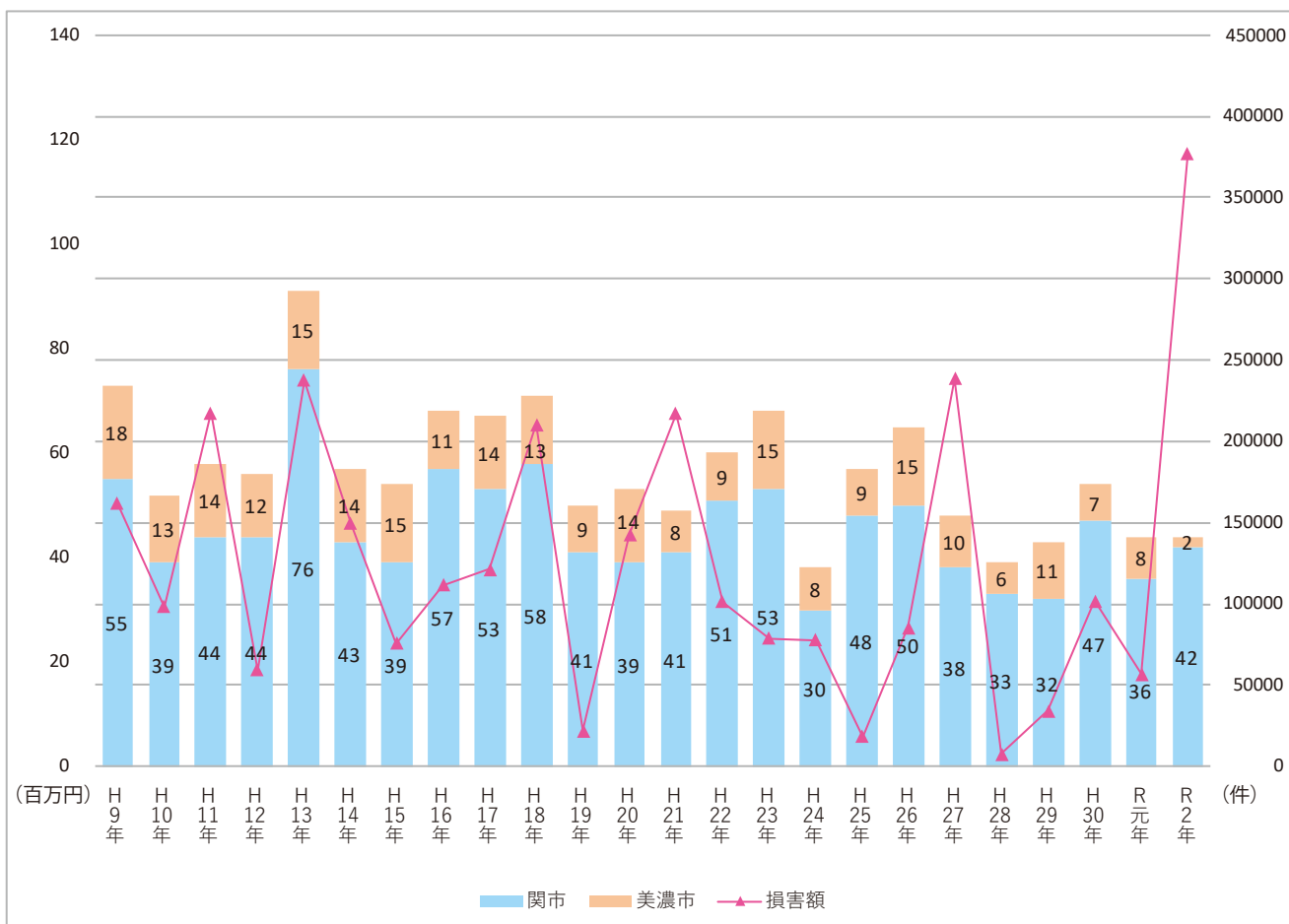


H 8年度	H 9年度	H 10年度	H 11年度	H 12年度	H 13年度	H 14年度	H 15年度	H 16年度	H 17年度	H 18年度	H 19年度	H 20年度	H 21年度	H 22年度	H 23年度	H 24年度	H 25年度	H 26年度	H 27年度	H 28年度	H 29年度	H 30年度	R元年度	R 2年度
135	139	142	145	145	145	145	144	144	144	144	149	158	165	165	165	165	168	166	167	166	169	170	168	170
135	145	145	145	145	145	145	145	145	145	145	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165

火災件数・損害額



	S 47年	S 48年	S 49年	S 50年	S 51年	S 52年	S 53年	S 54年	S 55年	S 56年	S 57年	S 58年	S 59年	S 60年	S 61年	S 62年	S 63年	H 元年	H 2年	H 3年	H 4年	H 5年	H 6年	H 7年	H 8年
関市	47	73	51	20	26	50	80	57	45	38	47	62	60	48	95	70	70	73	89	54	53	55	68	58	68
美濃市	11	21	18	13	9	14	14	19	7	6	14	12	16	20	31	14	14	20	19	10	16	21	13	16	20
損害額	6942	51481	87723	55793	56259	82494	134403	88718	40884	183061	24025	73215	114533	252080	105978	126797	120536	50982	381252	370872	75422	121486	372168	79810	190428



H 9年	H 10年	H 11年	H 12年	H 13年	H 14年	H 15年	H 16年	H 17年	H 18年	H 19年	H 20年	H 21年	H 22年	H 23年	H 24年	H 25年	H 26年	H 27年	H 28年	H 29年	H 30年	R 元年	R 2年
55	39	44	44	76	43	39	57	53	58	41	39	41	51	53	30	48	50	38	33	32	47	36	42
18	13	14	12	15	14	15	11	14	13	9	14	8	9	15	8	9	15	10	6	11	7	8	2
161707	98094	217566	59641	237712	149536	75926	111508	121177	210334	22112	142731	217268	101471	78634	78012	18473	85628	238334	7704	34052	102099	57052	323491

過去 50 年間の主な火災

条件 建物火災 500㎡以上、林野火災300a、焼死者2名以上、損害額1,000万円以上、特異な火災(産廃火災、ガス爆発火災等)

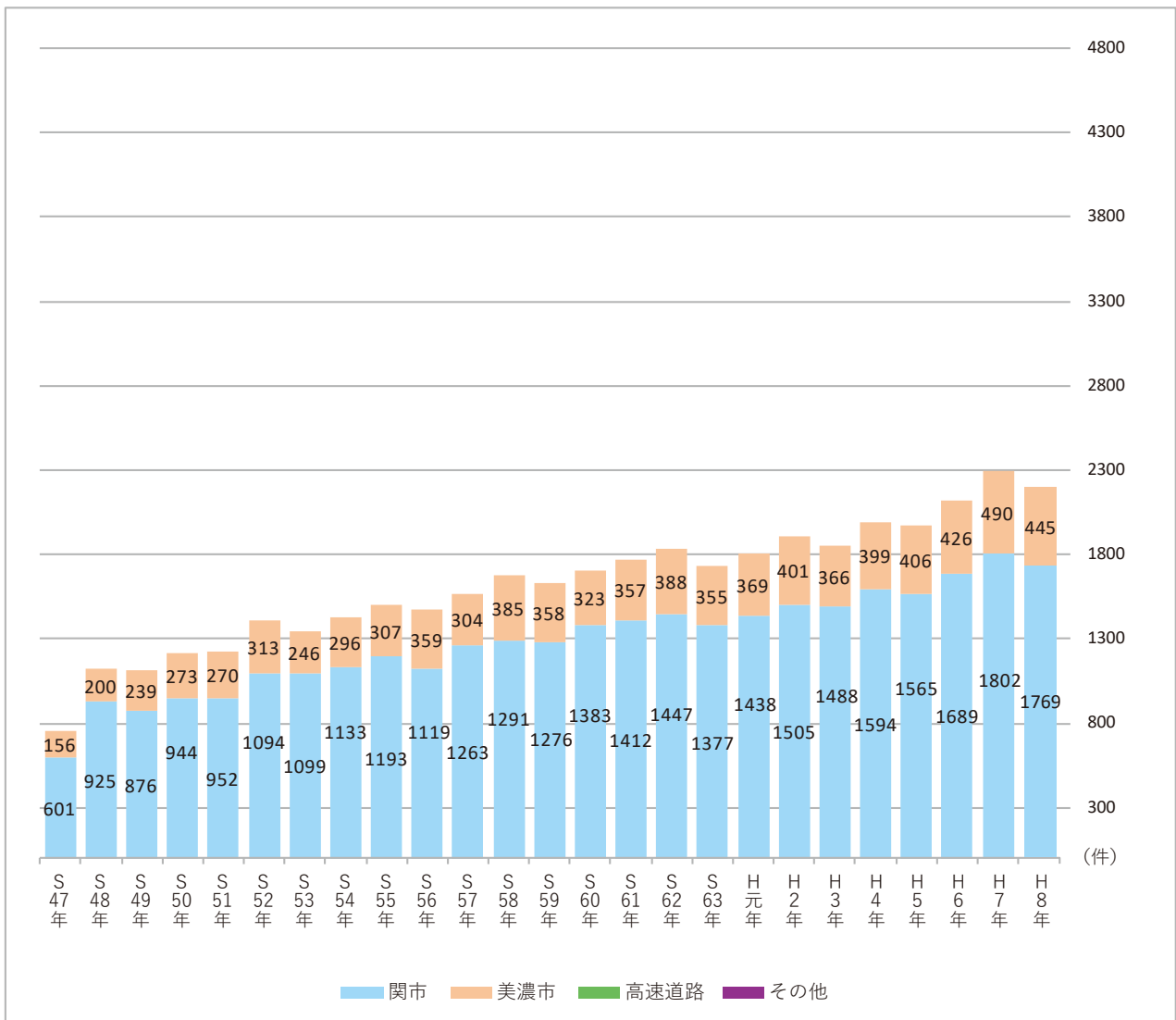
	発生日月	発生場所		火災種別	焼損床面積 (㎡)	林野火災面積 (a)	損害額等 (千円)	死者	負傷者	備考
1	S48.11.12	関市	本町1丁目	建物	551		10,000		1	
2	S48.12.26	関市	西町	建物	215		5,100	2	1	
3	S49.2.9	美濃市	立花	建物	668		38,234			
4	S49.3.23	美濃市	広岡町	建物	484		23,526			
5	S50.10.31	美濃市	俵町	建物	107		13,144			
6	S52.8.1	美濃市	片知	建物	108		11,153	1		
7	S52.12.12	板取村	野口	建物	178		12,335			
8	S53.4.10	関市	迫間	林野		300	1,674			
9	S53.7.15	美濃市	相生町	建物	1,076		61,438			
10	S53.7.16	美濃市	広岡町	建物	51		11,839			
11	S53.8.4	関市	元松町	建物	214		25,597		1	
12	S54.3.9	関市	本町8丁目	建物	338		22,952			
13	S54.5.13	関市	堅切北	建物	107		12,704	2	3	
14	S55.4.10	関市	山田	建物	117		11,131			
15	S56.5.9	関市	浪花町	建物	198		74,715		1	
16	S56.6.9	板取村	杉原	建物	443		11,087			
17	S56.11.17	関市	山田	建物	104		10,766			
18	S56.12.24	関市	本町7丁目	建物	229		55,957			
19	S57.2.28	関市	東田原	建物	98		10,919			
20	S58.1.20	美濃市	蕨生	建物	737		24,828			
21	S58.3.12	武儀町	下之保	建物	317		12,080		2	
22	S58.4.24	板取村	大伊尾	林野		531				
23	S58.10.22	関市	上迫間	車両			131	2		自損行為
24	S59.2.18	美濃市	常盤町	建物	247		10,755			
25	S59.7.8	関市	四季の台	建物	90		10,541			
26	S59.9.28	美濃市	神洞	建物	566		43,011			
27	S60.1.13	関市	志津野	建物	229		21,873			
28	S60.3.1	美濃市	吉川町	建物	3		53		9	ガス爆発
29	S60.3.24	関市	栄町3丁目	建物	162		33,305			
30	S60.5.29	関市	西本郷通4丁目	建物	583		26,599			
31	S60.6.14	関市	川間町	建物	129		18,720		1	
32	S60.8.9	関市	池尻	建物	2,220		99,248			
33	S60.9.29	関市	小迫間	建物	2,443		10,501			
34	S61.8.13	美濃市	蕨生	建物	276		31,757			
35	S61.9.9	美濃市	片知	車両			83	2		自損行為
36	S61.12.17	武芸川町	谷口	建物	292		15,490	2		
37	S62.1.22	美濃市	東市場	建物	304		38,236			
38	S62.6.8	関市	北福野町2丁目	建物	213		24,755			
39	S63.5.16	関市	山田	建物	366		46,766			
40	S63.6.4	美濃市	松森	建物	330		14,768			

	発生年月日	発生場所		火災種別	焼損床面積 (㎡)	林野火災面積 (a)	損害額等 (千円)	死者	負傷者	備考
41	S63.10.28	関市	倉知	建物	1		10,379			
42	S63.11.7	武芸川町	跡部	建物	364		31,409			
43	H1.12.26	関市	巾2丁目	建物	174		20,140			
44	H2.1.15	美濃市	乙狩	建物	365		15,356			
45	H2.1.21	美濃市	殿町	建物	329		15,105		1	
46	H2.3.21	美濃市	大矢田	林野		310	2,520			
47	H2.4.5	武芸川町	平	建物	223		33,647			
48	H2.7.15	関市	肥田瀬	建物	2,290		262,707		1	
49	H3.3.15	美濃市	小屋名	建物	344		15,008			
50	H3.5.25	美濃市	乙狩	建物	352		29,876			
51	H4.1.3	関市	東田原	建物	436		16,982			
52	H4.1.14	関市	下有知	建物	202		36,269			
53	H5.2.28	美濃市	笠神	建物	178		12,448			
54	H5.2.28	武芸川町	跡部	建物	155		20,204		3	
55	H5.8.11	美濃市	安毛	建物	1		10,550			
56	H5.8.27	関市	西田原	建物	149		12,402			
57	H6.1.4	関市	小瀬	建物	228		38,174	1	2	
58	H6.3.19	美濃市	松森	建物	144		18,176	1		
59	H6.3.23	関市	巾2丁目	建物	769		196,599		1	
60	H6.8.6	板取村	上ミ平	林野		548	30,464			
61	H6.8.25	関市	志津野	建物	144		25,498			
62	H7.4.14	関市	小瀬	建物			13,476			
63	H7.8.6	関市	東桜町	建物	184		18,612			
64	H7.11.11	関市	上日立	建物	300		18,023		1	
65	H8.1.19	関市	塔之洞	建物	675		29,876			
66	H8.3.23	関市	下有知	建物	116		11,551			
67	H8.10.29	美濃市	俵町	建物	794		98,206			
68	H9.1.3	美濃市	吉川町	建物	199		35,763		1	
69	H9.1.21	武芸川町	谷口	林野		380				
70	H9.6.7	関市	関ノ上1丁目	建物	40		11,594	1		
71	H9.10.31	関市	清水町	建物	158		41,314			
72	H9.11.19	美濃市	曾代	その他			962		1	産廃火災
73	H10.12.27	美濃市	極楽寺	建物	98		38,835			
74	H11.1.15	関市	小瀬	建物	314		36,195			
75	H11.3.12	関市	西本郷通6丁目	建物	129		24,546		1	
76	H11.6.6	関市	明生町	建物	1,042		118,151		1	
77	H11.12.12	関市	倉知	建物	289		21,803			
78	H12.4.24	関市	東桜町	建物	287		12,148			
79	H12.12.17	関市	小瀬南2丁目	建物			1,253		1	ガス爆発
80	H12.12.31	関市	千年町2丁目	建物	152		12,633		1	

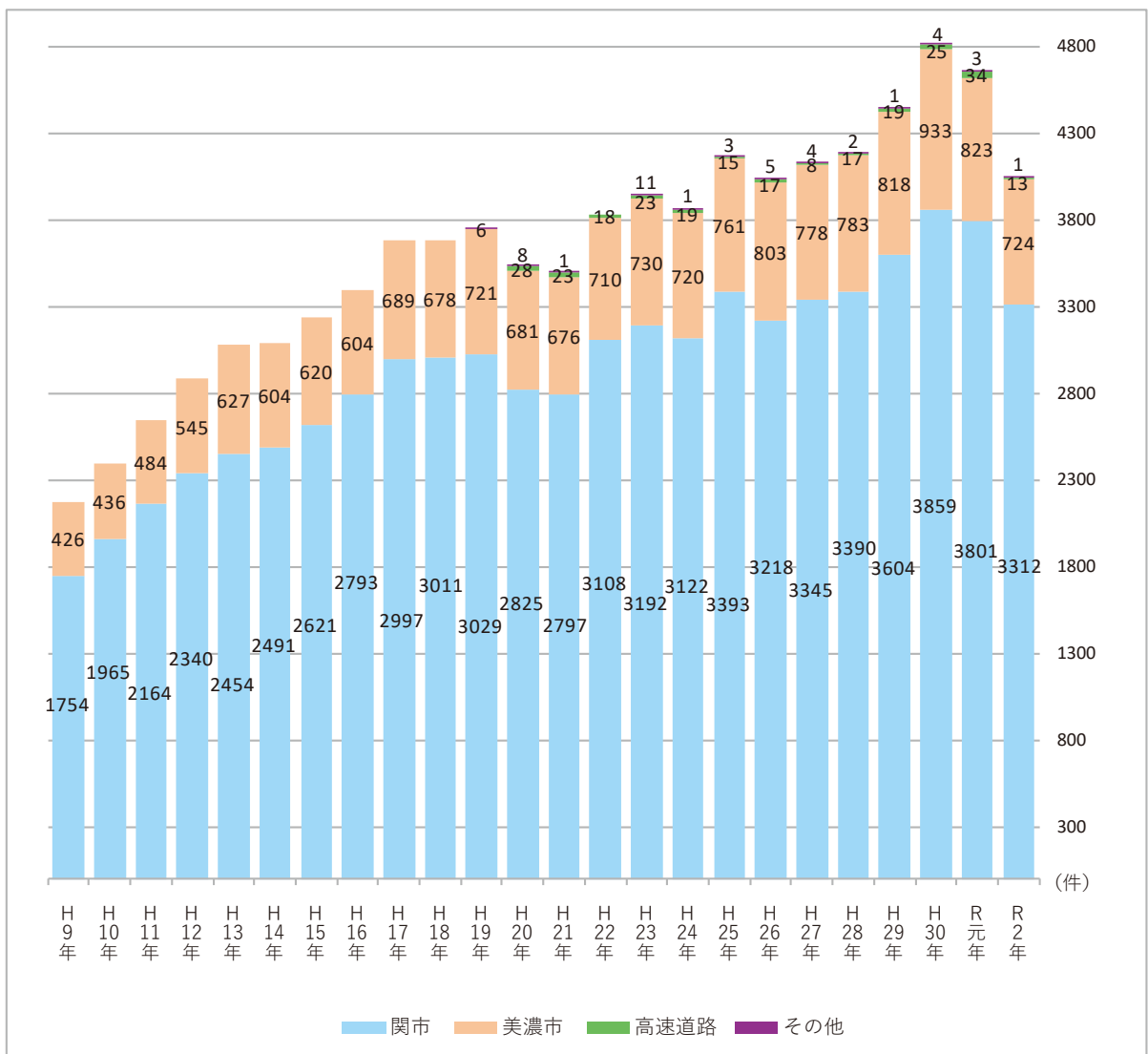
	発生年月日	発 生 場 所		火災種別	焼損床面積 (m ²)	林野火災面積 (a)	損害額等 (千円)	死者	負傷者	備 考
81	H13.1.14	関市	戸田	車両			418	2		自損行為
82	H13.4.10	関市	東本郷通5丁目	建物	57		14,681		1	
83	H13.6.7	関市	倉知	建物	120		60,811		1	
84	H13.7.1	関市	新迫間	建物			25,000			
85	H13.7.14	関市	緑町1丁目	建物	290		28,958		2	
86	H13.8.1	関市	迫間	建物	204		10,974		1	
87	H13.8.28	関市	南仙房	建物	67		10,457			
88	H13.9.6	関市	志津野	建物	574		44,134			
89	H14.3.16	美濃市	下渡	建物	163		17,015		1	
90	H14.4.5	関市	倉知	林野		10	77			大規模林野火災
91	H14.5.30	関市	柳町	建物	137		19,204	1		
92	H14.7.19	関市	下有知	建物	464		23,361			
93	H14.8.27	関市	武芸川町高野	建物	185		19,323	1		
94	H14.11.14	関市	寿町	建物	506		26,650			
95	H15.3.14	関市	洞戸市場	建物			55			ガス爆発
96	H15.3.24	関市	常盤町	建物	145		14,732			
97	H15.4.10	美濃市	片知	建物	247		17,939			
98	H16.3.22	関市	板取杉島	建物	130		16,088			
99	H16.10.17	関市	仲町	建物	725		44,010			
100	H16.12.8	関市	緑ヶ丘2丁目	建物	156		17,762		2	
101	H17.3.28	関市	明生町1丁目	建物	130		18,857		1	
102	H17.4.8	関市	緑ヶ丘2丁目	建物	49		26,965	1		
103	H17.5.29	関市	倉知	その他						長時間燃焼火災
104	H17.11.5	関市	神野	建物	451		37,920			
105	H18.1.4	関市	柳町	建物	276		13,777			
106	H18.3.5	関市	武芸川町小知野	建物	156		11,255	3	3	
107	H18.5.15	関市	千疋	建物	74		12,107			
108	H18.8.17	美濃市	乙狩	建物	557	1	23,235			
109	H18.9.24	関市	小瀬	建物	10		14,253			
110	H18.10.18	関市	吉野町	建物	189		11,772			
111	H18.10.19	関市	吉野町	建物	90		31,464			
112	H18.11.28	関市	黒屋	建物	231		50,599		1	
113	H20.4.29	関市	洞戸大野	建物	1,080		123,892		1	
114	H20.7.23	関市	下之保	その他			140			産廃火災
115	H21.4.3	関市	豊岡町1丁目	建物	236		23,658			
116	H21.4.21	関市	のぞみヶ丘	建物	1,228		123,928			
117	H21.8.16	関市	南町1丁目	建物	316		32,572		2	
118	H21.12.24	関市	緑町2丁目	建物	80		10,605			
119	H22.3.28	関市	川間町	建物	93		18,124			
120	H22.6.14	美濃市	亀野町	建物	109		16,578		1	

	発生年月日	発生場所		火災種別	焼損床面積 (㎡)	林野火災面積 (a)	損害額等 (千円)	死者	負傷者	備考
121	H22.8.16	関市	西旭ヶ丘	建物	255		10,564			
122	H22.8.30	関市	山田	建物	222		14,179			
122	H23.3.18	関市	向山町	建物	234		14,771			
123	H23.4.7	美濃市	立花	建物	182		24,138			
124	H24.8.18	関市	吐月町	建物	315		22,907		2	
125	H24.11.23	関市	のぞみヶ丘	建物			21,566			
126	H25.3.31	関市	大杉	建物	117		11,339	1		
127	H26.4.18	関市	洞戸	建物	262		14,095			
128	H26.5.15	関市	武芸川町	建物	222		32,508			
129	H26.10.31	関市	西福野	建物	158		17,630		1	
130	H27.1.24	関市	千疋	建物	233		22,730		1	
131	H27.5.1	関市	下有知	建物	333		27,394		2	
132	H27.6.12	関市	板取	建物	187		11,105			
133	H27.7.29	美濃市	生櫛	建物	136		13,696	1		
134	H27.8.15	美濃市	楓台	建物			28,919			
135	H27.10.13	関市	神野	建物	354		29,650			
136	H27.11.10	美濃市	蕨生	建物	1,102		32,554		1	
137	H27.11.27	関市	坂下町	建物	392		21,110			
138	H27.12.17	関市	東山	建物	233		26,510			
139	H29.12.25	関市	下有知	建物	184		16,935	1		
140	H30.1.12	関市	小瀬	建物	267		47,238			
141	H30.1.30	美濃市	極楽寺	建物	357		15,278		1	
142	H30.5.6	関市	向陽台	建物	145		18,923		2	
143	H31.2.16	関市	下有知	建物	110		13,242		1	
144	R1.5.27	関市	巾	建物	242		20,467			
145	R2.10.26	関市	下有知	建物	1,830		305,828		2	
146	R2.12.18	美濃市	極楽寺	建物	553		35,884			
147	R2.12.26	関市	肥田瀬	建物	101		12,842			

救急出場（構成市別）

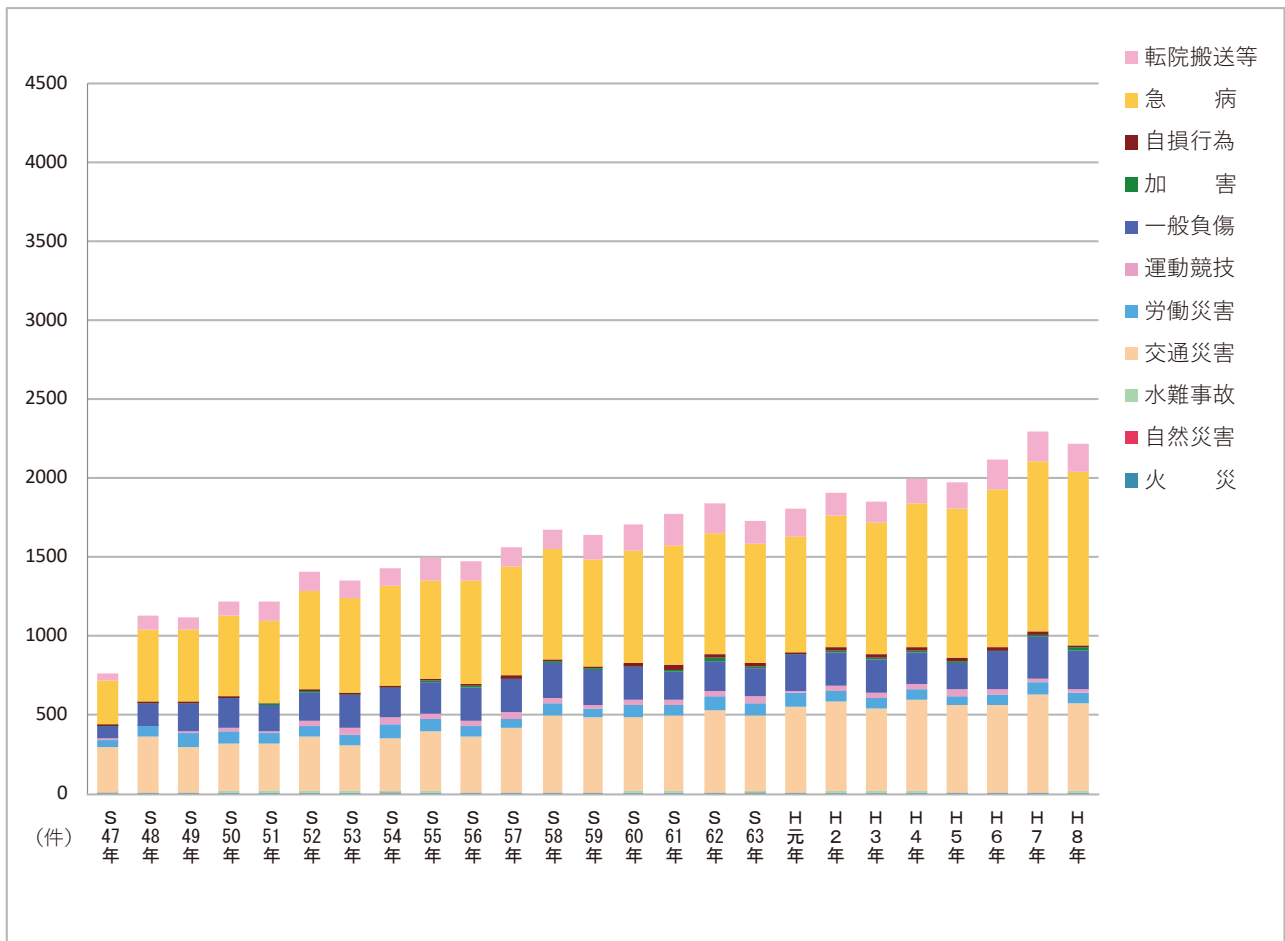


	S 47年	S 48年	S 49年	S 50年	S 51年	S 52年	S 53年	S 54年	S 55年	S 56年	S 57年	S 58年	S 59年	S 60年	S 61年	S 62年	S 63年	H 元年	H 2年	H 3年	H 4年	H 5年	H 6年	H 7年	H 8年		
関市	601	925	876	944	952	1094	1099	1133	1193	1119	1263	1291	1276	1383	1412	1447	1377	1438	1505	1488	1505	1488	1594	1565	1689	1802	1769
美濃市	156	200	239	273	270	313	246	296	307	359	304	385	358	323	357	388	355	369	401	366	399	406	426	490	445		
高速道路																											
その他																											

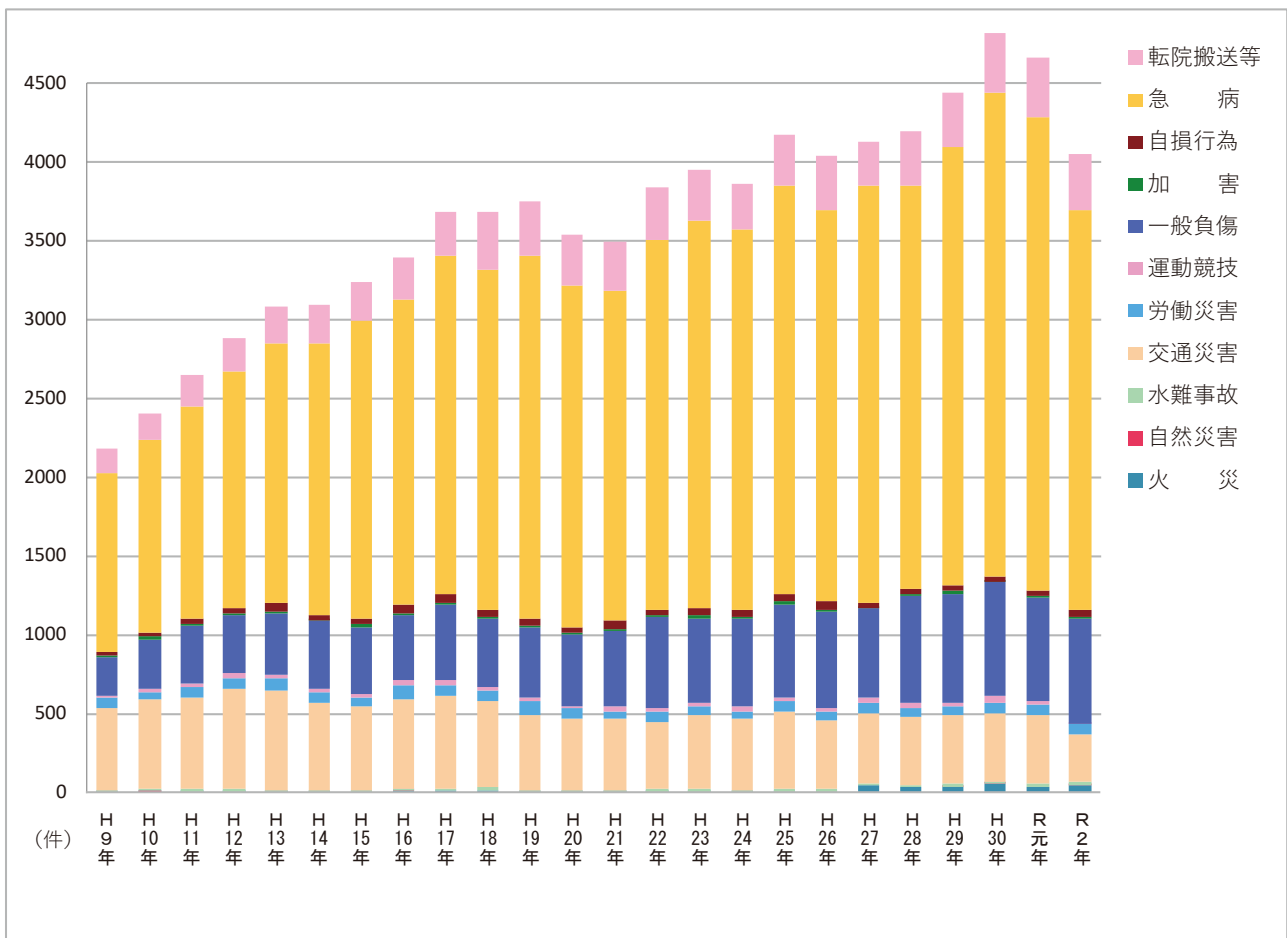


H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
1754	1965	2164	2340	2454	2491	2621	2793	2997	3011	3029	2825	2797	3108	3192	3122	3393	3218	3345	3390	3604	3859	3801	3312
426	436	484	545	627	604	620	604	689	678	721	681	676	710	730	720	761	803	778	783	818	933	823	724
											28	23	18	23	19	15	17	8	17	19	25	34	13
										6	8	1		11	1	3	5	4	2	1	4	3	1

救急出場状況（種別）



	S 47年	S 48年	S 49年	S 50年	S 51年	S 52年	S 53年	S 54年	S 55年	S 56年	S 57年	S 58年	S 59年	S 60年	S 61年	S 62年	S 63年	S 64年	S 65年	H 元	H 2年	H 3年	H 4年	H 5年	H 6年	H 7年	H 8年
火災	2	2	2	5	5	3	8	4	5	4	3	2	4	7	8	2	9	4	4	4	4	4	1	6	3	4	7
自然災害	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難事故	3	3	3	8	7	9	6	9	9	4	4	5	7	7	4	8	3	6	10	12	11	4	5	6	13		
交通災害	294	351	292	306	309	347	288	336	383	357	408	488	472	475	486	522	486	544	567	518	585	546	551	622	557		
労働災害	39	70	87	80	60	72	73	88	72	58	61	79	53	76	58	81	78	80	68	68	67	65	68	75	62		
運動競技	9	4	10	16	14	31	46	47	40	39	41	33	27	33	39	39	35	21	35	32	26	36	30	21	18		
一般負傷	77	145	182	189	167	177	202	188	196	215	212	219	221	205	181	192	187	224	215	220	202	176	244	263	254		
加害	1	2	1	2	8	6	4	3	9	6	3	8	9	6	9	15	7	8	10	9	14	6	8	11	13		
自損行為	10	10	11	14	8	20	10	11	13	14	19	20	13	21	28	24	22	12	17	21	25	27	14	21	18		
急病	277	455	451	512	519	614	606	628	619	651	687	692	683	714	758	764	756	731	841	828	903	936	1005	1082	1093		
転院搬送等	44	83	76	85	125	128	102	114	154	130	129	130	145	162	198	188	148	177	139	142	159	169	187	187	179		



H 9 年	H 10 年	H 11 年	H 12 年	H 13 年	H 14 年	H 15 年	H 16 年	H 17 年	H 18 年	H 19 年	H 20 年	H 21 年	H 22 年	H 23 年	H 24 年	H 25 年	H 26 年	H 27 年	H 28 年	H 29 年	H 30 年	R 元 年	R 2 年	
5	3	4	5	4	4	2	8	7	12	3	2	3	4	3	4	3	5	44	29	35	57	38	43	
0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
7	11	19	12	12	12	14	8	18	20	11	14	13	14	14	7	19	15	8	17	16	13	14	22	
528	572	574	635	629	549	525	576	590	550	478	448	453	433	474	456	493	432	444	438	438	430	437	301	
60	44	75	72	75	66	62	80	62	63	82	66	46	60	53	50	62	57	77	50	55	72	63	62	
11	29	21	33	24	28	21	36	37	27	32	13	32	19	23	30	19	23	26	29	24	35	32	6	
244	309	364	366	393	427	425	415	474	427	439	459	481	583	540	556	599	611	571	686	692	723	652	670	
13	16	16	13	14	8	17	14	17	14	18	15	13	11	14	6	17	15	4	10	14	7	13	6	
24	29	26	30	48	32	37	51	54	44	43	33	45	36	44	49	43	58	31	28	34	33	30	45	
1139	1223	1354	1501	1648	1722	1889	1941	2142	2162	2295	2171	2096	2351	2460	2414	2602	2475	2647	2561	2784	3072	3002	2537	
149	162	195	218	234	247	249	266	285	370	355	321	315	325	331	290	315	352	283	344	349	378	380	357	

